

# 宮城県復興まちづくり通信

Vol.33

平成29年10月に拠点施設がオープンしたつばめの杜地区（山元町）

平成30年3月発行

## トピック

### 1. 気仙沼市で「大谷海岸地区復興事業着工式」が行われました

東日本大震災により被害を受けた大谷海岸地区については、これまで、防潮堤と背後のまちづくりを含めて関係機関と調整・協議が行われてきました。まちづくり通信Vol.27においても、平成28年7月30日にまちづくり方針（基本事項）が了承された旨をお知らせしたところです。

このたび、ついに復興工事に着手する運びとなったことから、関係者への感謝の意を表するとともに、地域の方々をはじめ広くお伝えするため、平成30年1月20日に県と気仙沼市が共催で着工式典を行いました。

整備内容については、当初の計画では砂浜部分に防潮堤をつくる予定でしたが、計画の見直しにより、内陸側の国道をかさ上げし防潮堤を整備し、砂浜を保存することとなりました。また、後背地もかさ上げし、道の駅や多目的広場等を整備する計画となっています。

今後、県において防潮堤を、気仙沼市において道の駅等を整備し、平成32年度に完成する予定となっています。



着工式 鉄入れ



整備計画イメージパース

### 2. 復興交付金 交付可能額通知(第20回目)について

平成30年2月28日に、復興庁から復興交付金に係る第20回目の交付可能額が通知されました。

復興交付金は県内沿岸部の各市町へ240億円（国費ベース）配分され、このうち国土交通省所管事業は197億円（国費ベース）配分されました。

今回の配分では、石巻市下水道事業や仙台市復興道路事業に大きく配分されました。配分額の大きい事業種別は、「下水道事業」、次いで「道路事業（D-1）」、「被災市街地復興土地地区画整理事業」の順となっています。

さらに、気仙沼市松崎片浜地区被災市街地復興土地地区画整理事業が新規事業（事業費・全額流用）として新たに認められました。

県事業分を含む（単位：億円）

市町名	第19回までの交付可能額計		第20回交付可能額		合計		備考
	事業費	国費	事業費	国費	事業費	国費	
気仙沼市	3,641.3	2,927.3	4.7	3.8	3,646.0	2,931.1	沿岸部 (15市町)
南三陸町	1,422.5	1,156.3	-	-	1,422.5	1,156.3	
石巻市	5,424.0	4,402.2	192.5	146.2	5,616.5	4,548.4	
女川町	1,769.3	1,401.2	34.2	24.5	1,803.5	1,425.7	
東松島市	1,976.9	1,583.7	0.4	0.3	1,977.3	1,584.0	
松島町	277.3	212.5	-	-	277.3	212.5	
利府町	77.2	59.6	-	-	77.2	59.6	
塩竈市	660.2	514.6	1.6	1.2	661.8	515.8	
七ヶ浜町	419.6	339.9	-	-	419.6	339.9	
多賀城市	555.4	444.9	6.9	5.2	562.3	450.1	
仙台市	2,372.0	1,971.4	44.4	34.4	2,416.4	2,005.8	
名取市	1,121.9	891	27.2	21.3	1,149.1	912.3	
岩沼市	908	713.6	0.1	0.1	908.1	713.7	
亘理町	858.3	680.6	-	-	858.3	680.6	
山元町	1,053.6	833.5	3.9	2.9	1,057.5	836.4	
計	22,537.3	18,132.0	315.9	239.9	2,2853.4	1,8372.2	

※端数処理により合計と一致しない場合があります。

# 各地域の動き

平成29年度の復興まちづくりのあゆみについてとりまとめました。

東日本大震災から7年が過ぎました。全国の皆様から温かい御支援をいただき、平成29年度は多くの市町で復興事業が進捗しました。



6



2



1



3



4



5

	4月1日	山元町	常磐自動車道 山元南スマートIC開通	
4月	4月15日	東松島市	復興再生多目的施設「セルコホームあおみな」完成	
	4月23日	南三陸町	南三陸ハマレ歌津 オープン	
	4月29日	松島町	石田沢防災センター開所	1
5月	5月28日	気仙沼市	気仙沼駅前住宅1号棟 災害公営住宅完成 (気仙沼市整備 災害公営住宅 全戸完成)	2
6月	6月30日	石巻市	いしのみき元いちば オープン	3
7月	7月12日	名取市	関上復興公営住宅 集合第1期完成	4
8月	8月1日	山元町	防災拠点・坂元地域交流センター 「ふるさとおもだか館」オープン	
	8月26日	東松島市	野蒜ヶ丘地区 災害公営住宅 全戸入居開始	
9月	9月30日	山元町	防災拠点・山下地域交流センター 「つばめの杜ひだまりホール」オープン	5
10月	10月15日	東松島市	野蒜ヶ丘まちびらきまつり	6
	10月25日	塩竈市	塩竈市魚市場完成	
	10月29日	多賀城市	宮内地区まちびらき植樹祭	
11月	11月5日	東松島市	復興祈念公園完成(震災復興メモリアルパーク)	
	11月25日	女川町	桜ヶ丘東住宅 入居式	
12月	12月9日	南三陸町	三陸道 歌津IC開通	
	12月16日	石巻市	伊勢畑地区(16戸)災害公営住宅 完成 (雄勝町 全戸完成)	
1月	1月20日	気仙沼市	大谷海岸地区復興事業 着工式	
	1月28日	女川町	荒立住宅 入居式 (女川町 集合型災害公営住宅完成)	
2月	2月11日	石巻市	北上観光物産交流センター オープン	

# 市町からのたより

## 女川町で災害公営住宅の整備が進んでいます

東日本大震災で被災した女川町では、災害公営住宅の整備が進んでいます。

平成29年11月25日には、集合住宅タイプの災害公営住宅「桜ヶ丘東住宅」(西区)が完成しました。入居式では、レプリカキーによる鍵の引き渡しやテープカットを行いました。同住宅は1棟5階建てで2DK～4LDKの52戸を整備し、住民が交流を図るコミュニティ広場や井戸端コーナーも設けています。

また、平成30年1月28日には、同じく集合住宅タイプの「荒立住宅」が完成し、町内の集合型災害公営住宅が全て完成しました。同住宅は2棟5階建てで2K～4LDKの60戸を整備し、住棟間にはイベント開催が出来るコミュニティ広場を整備しています。

両住宅ともコミュニティ形成支援として、入居説明会の際に顔合わせ会を開催し、共同作業でスペインタイル「おらほの壁画」を作成しています。完成した「おらほの壁画」は、各住棟エントランスに設置しています。

女川町では、3月末までに残りの一戸建てタイプも全て完成し、平成29年度末までに全ての災害公営住宅が完成する予定です。



完成した荒立住宅



荒立住宅 入居式

## 石巻市で北上観光物産交流センターがオープンしました

東日本大震災で被災した石巻市北上地区に、市で整備した「北上観光物産交流センター」が、平成30年2月11日にオープンしました。

センターは木造平屋の延べ面積約92㎡で、被災した旧北上総合支所跡地や旧吉浜小学校跡地、集団移転元地を活用し、約3mかさ上げした土地に整備されています。

センターでは、観光情報の発信や北上の美しい風景写真の展示を行うと共に、北上町十三浜で採れた水産加工品や地域特産米、野菜類の販売もしており、地域観光の拠点として、観光振興および地域活性化を図ります。

また、本施設は環境省が整備を進めてきたフィールドミュージアム内の「石巻・川のビジターセンター」に併設して建設されています。ビジターセンターは木造平屋の延べ面積約586㎡で、フィールドミュージアムの活動拠点となる施設であり、今年4月にオープン予定です。

北上地区は、震災前から自然体験活動など地域資源の活用に向けた取組が進められていたことから、ビジターセンターを拠点として、エコツーリズムの推進や環境教育などを面的、複合的に推進することで周辺部も含めた地域の活性化を図ります。



フィールドミュージアム内の各施設位置図



北上観光物産交流センター

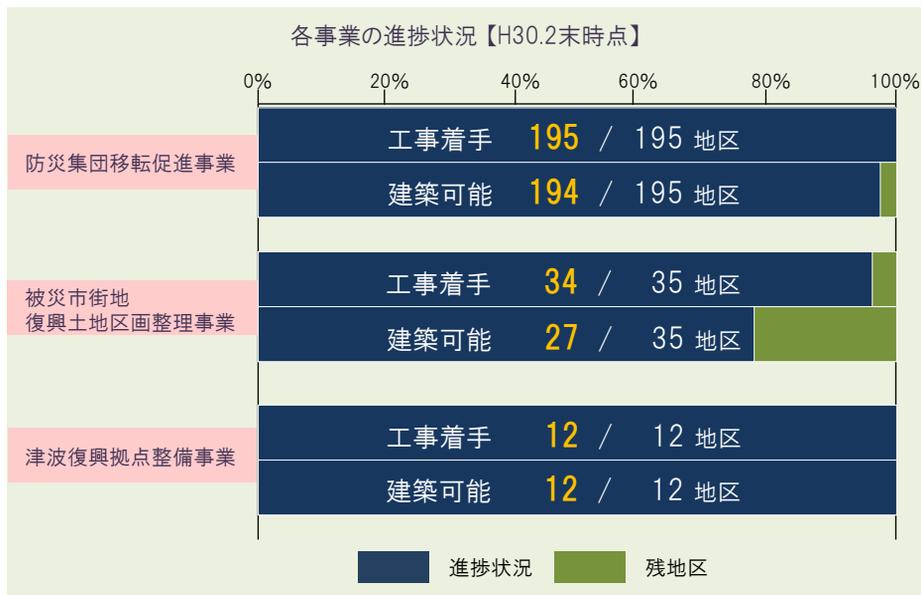
# 復興まちづくり事業の進捗状況

平成30年2月末時点 各事業の進捗状況

**防災集団移転促進事業**については、計画地区数**195地区**の全地区において工事に着手し、住宅等建築可能地区は**194地区**(約**99%**)となっています。

**被災市街地復興土地区画整理事業**については、計画地区数**35地区**のうち、工事着手は**34地区**(約**97%**)、住宅等建築工事可能地区数は、**27地区**(約**77%**)となっています。

**津波復興拠点整備事業**については、計画地区数**12地区**の全地区において工事着手し、住宅等建築工事可能(供用開始)となっています。



## 復興まちづくり推進室の取り組み

まるでみやぎの丸の内「MARU de MIYAGI」で復興まちづくりパネルを展示しました

当室では、宮城県の現在の復興状況を広くお知らせするため、被災した沿岸15市町の協力を得ながら「みやぎの復興まちづくりパネル展」を行っています。

その活動の一環として、平成30年3月1日から2日にかけて開催された三菱地所及び河北新報社主催のイベント「MARU de MIYAGI2018」(会場:東京都丸ビル)に参加し、復興まちづくりのパネル展示を行いました。

このイベントは、宮城の魅力あるコンテンツを発信し、宮城県への誘客をPRすることが目的です。当室が展示した沿岸15市町の復興まちづくり状況のパネルにもおよそ1万人の来場者の皆様に関心を寄せていただきました。

会場ではパネルの他に「みやぎ復興まちづくりカード」の配布も行いました。このカードは被災地へ足を運んで貰うことや、被災地の魅力を伝えることを目的として作成しました。

3月1日には、みやぎ絆大使であるサンドウィッチマン様にみやぎの復興と魅力についてPRしていただき、会場がにぎわいました。

今後も、このようなイベントへの参加やパネル展を通じて、震災の記憶の風化防止と全国からの御支援に対する感謝の気持ちを伝えていくこととしています。



パネル展開催状況



みやぎ絆大使 サンドウィッチマンも来場

編集・発行

宮城県土木部復興まちづくり推進室

〒980-8570

宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号

TEL 022-211-3207

FAX 022-211-3295

fukumachi@pref.miyagi.lg.jp

